**【記載例】**

ご提出頂く資料は審査会前に審査員へ送付されます。下記に留意し作成お願いします。

・専門用語、業界用語は補足説明を入れる、もしくは言葉の置換えをする。

・商品名を記載する際は製造メーカ、販売店等を記載する。

・概略図(マンガ絵)、ブロック図、写真等を使用し文章では伝わりづらい内容を補足する。

審査会では複数の案件が審議されます。内容が理解されやすいことが重要です。

様式２

長岡市イノベーション加速化補助金（デジタル技術活用事業）

事業計画書

申請者名：

○○株式会社

事業名称：具体的な内容が伝わる名称を記載する。

１　補助事業の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 1)補助事業の名称 | 〇〇製品における温度監視システム導入事業 |
| 2)事業を実施する背景 | 事業を実施する背景を自社の状況を交えて記載してください。  （例）  〇〇製品を製造・管理するうえで、昼夜を問わない温度管理が必要で、変則的な勤務形態となっており、このことが原因で過去に離職者がいたり、新規採用も伸びていないと考えている。 |
| 3)課題の説明 | 上述の背景からどのような事項を課題と設定しているか記載してください。  ・記入枠は広げても構いません。  ・図表を入れても構いません。  （別紙にて添付も可能です。）  （例）  　1.変則的な勤務時間の改善  　2.労働負担の軽減  ※1を実施するためには○○を行わなければならず… |
| 4)事業内容 | 課題解決のために実施する本事業の内容（導入するシステム、サービスの概要等）を記載してください。  （例）  　自社独自の〇〇機能を加えた温度監視システムの導入  　導入予定の温度管理システムは〇〇機能を有しており、さらに自社独自の〇〇機能を付加することができるので、さらなる導入効果に期待できる。  　本システムは温度センサーを搭載しており・・・ |
| 5)期待効果 | 本事業を実施した際に改善が図られる事項や期待される効果を記載してください  （例）  　変則的な勤務形態となっている従業員は〇名いるが、本システムを導入することで、変則勤務者０名となることが期待できる。  　さらに労働的な負担が改善が見込めるため、採用の際の説明に入れることで企業PRにもなると考えている。  新規ビジネスモデル、事業化計画  技術性・市場性におけるセールスポイント等もあれば記載する。 |
| 6)今後の展開 | 本事業実施後のビジネス展開やデジタル化等実施する内容があれば記載してください。  （例）  　本システムで計測された温度データはクラウド上に蓄積することでき、今後、そのデータを活用した〇〇に取り組むことが可能となる。  　今後はそのデータを活用し、さらなる・・・ |

２　申請者の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 本社所在地 | 〒○○○-○○○○  長岡市○○ | | |
| 資本金 | 〇〇〇万円 | 従業員数 | 〇〇人 |
| 該当する  産業分類 | 〇〇製造業（〇〇）  中分類を記載してください。 | | |
| 日本標準産業分類の中分類に該当する業種を記載　例：各種商品小売業（56） | | |
| 事業内容、  主要製品等 | 〇〇の製造 | | |
| 設立年月日 | 〇〇年　〇〇月　〇〇日設立 | | |
| この申請に係る  問い合わせ先 | 担当者：○○○○  電　話：○○-○○○○  ＦＡＸ：○○-○○○○  E‐mail：○○@○○○○ | | |
| 本事業の役割分担 | （例）  自社　　…　カスタマイズ案作成・効果測定・検証  　㈱〇〇　…　システム導入（外注） | | |

4月からの事業開始は可能ですが、補助金支払い対象は審査会採択後(6月以降)となります。採択前に手配し発生した費用は補助金支払いの対象になりません。

３　開発スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| スケジュール | 開始 | 令和〇年○月〇日 | | | | | 完了 | | | 令和〇年２月２８日 | | | | | | |
| ステップ | | 実施時期（月） | | | | | | | | | | | | | |
| ４ | ５ | ６ | ７ | | ８ | ９ | | 10 | 11 | 12 | １ | ２ | ３ |
| 電波状況確認 | |  |  | 〇　▽ |  | |  |  | |  |  |  |  |  |  |
| 無線通信環境の構築 | |  |  |  | 〇　▽ | |  |  | |  |  |  |  |  |  |
| カスタイムズ  内容検討 | |  |  |  |  | | 〇　　　 ▽ |  | |  |  |  |  |  |  |
| システム  発注・導入 | |  |  |  |  | |  |  | | 〇　▽ |  |  |  |  |  |
| システム  試験運転 | |  |  |  |  | |  |  | | 〇　　▽ |  | 〇　　　　▽ |  |  |  |
| 効果・検証 | |  |  |  |  | |  |  | |  |  |  |  |  |  |
|  | |  |  |  |  | |  |  | |  |  |  |  |  |  |
|  | |  |  |  |  | |  |  | |  |  |  |  |  |  |
| 産業財産権の  取得 | □ 取得する | | 取得権利： □特許権 □実用新案権 □意匠権 □商標権  発明等の名称： | | | | | | | | | | | | | |
| ■ 取得しない | | 理由：取得する事業内容でないため | | | | | | | | | | | | | |